

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

I. 教科に関する調査

<結果と分析>

○国語科

- ・漢字を使って送り仮名に気を付けて書き直す問題の正答率が高く、漢字を文の中で正しく使う力が身に付いています。
- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書き表す問題に課題が見られました。

○算数科

- ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配の法則を用いたりすることができるかどうかの問題が概ねできており、計算力が身に付いています。
- ・表やグラフを使った問題では、表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求める力が身に付いています。
- ・三角形の意味や性質を手がかりに面積の大小について言葉や数字を用いて説明する問題や、割合に対する問題に対して課題が見られます。

<今後の取り組み>

○国語科

- ・話し手の考えと自分の考えとを比較し、共通点や相違点を整理することや、根拠を明確にして自分の考えを文章で表現する場の設定を増やしていきます。

○算数科

- ・計算力だけでなく考え方やその解決方法を理由付けしながら表現する活動に力を入れていきます。また、図形の学習においては、ICT機器などを活用し、図形を構成する要素やそれらの位置関係を捉えて、説明できるようにしていきます。

今後とも児童一人一人の考えが表現され、他者との関連付けから対話的な学びがうまれる協同的探究学習をどの教科でも取り入れていきます。

II. 児童質問紙

肯定的回答の割合が高い項目

- 「自分には、よいところがあると思いますか」
- 「将来の夢や目標を持っていますか」
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

改善が必要な項目

- 「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」
- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」
- 「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」

<児童質問紙結果より>

多くの児童から規範意識の高さが感じられ、自己肯定感が育っていると考えられる結果となりました。本校の児童は、学校での生活を楽しんでいるとともに、地域や社会とのつながりを意識して過ごしており、普段から地域と児童の交流を大切にする地域性の表れといえます。その一方、家庭での学習時間や平日に読書をする時間が少ないことが課題として挙げられます。